

## 令和5年度第5回理事会議事録

招集通知日 令和6年3月22日（金）  
開催日時 令和6年3月27日（水）午後6時00分～  
開催場所 伊豆の国市商工会本所2階会議室  
出席者数 23名（内 監事2名）  
欠席者数 12名  
出席役員氏名 別添  
司会者 松下泰孝（事務局）  
議長氏名 大沢秀光（会長）  
議事録作成者 川口英昭（副会長）

### 議事経過と結果

定刻6時00分、事務局長の司会で開始された。検証会資料については行政、学識経験者、全役員に、理事会資料については全役員に事前配布した旨報告確認をした。

「開会のことば」を土屋副会長が行った後、大沢会長が「会長あいさつ」を行い能登半島地震への義援金の協力についてお礼を述べた。また、人事異動により4月1日から加藤卓磨経営指導員が伊豆市へ異動する旨説明した。

事務局長が令和5年度伊豆の国市商工会経営発達支援計画の検証会に入る旨述べ、西家法定指導員が説明を行うと説明。

事務局西家が、評価者として行政より天野産業部長、平井商工課長、大沼係長、県連伊藤主幹を紹介。北川診断士は所用の為、事前確認及びコメント預りを報告。

本会定款32条5項に準じ、大沢会長を議長に指名。検証会に入った。

### （3） 令和5年度伊豆の国市商工会 第3期経営発達支援計画の検証会（最終）

#### ①行政、学識経験者紹介

ワンホープ・ビジネスコンサルティング

（中小企業診断士）	代表	北川	裕章	様
伊豆の国市産業部	部長	天野	正人	様
〃 商工課	課長	平井	仁史	様
〃 〃	商工振興係長	大沼	英幸	様
静岡県商工会連合会企画経営課	主幹	伊藤	彰	様

#### ②経営発達支援計画の検証（議長は会長）

大沢議長は事務局に説明を求めた。

##### ○計画の概要の説明

（資料1-1）概要と全体

事務局西家が資料1-1から1-4について説明。

経営発達支援計画に基づく事例として別添資料(事例集)を説明した。

- ・平成27年7月15日、第1回認定で本会第1期計画が経済産業大臣より認定。  
（平成27年4月～平成30年3月 3ヶ年計画）
- ・平成30年3月16日、第5回認定で本会第2期計画が経済産業大臣より認定。  
（平成30年4月～令和5年3月 5ヶ年計画）
- ・令和5年3月17日、第10回認定で本会第3期計画が経済産業大臣より認定。  
（令和5年4月～令和10年3月 5ヶ年計画）

##### ○令和5年度伴走型小規模事業者支援推進事業補助金の報告

##### ・事業内容と支出内訳

（資料1-2）

令和6年3月1日実績報告 4, 143, 070円

・『事業承継支援事業』実施報告会（2月15日）

（資料1-3-1）

塩野中小企業診断士、大沼市商工振興係長、総務委員会委員出席。

報告書の説明、今後の方針（取組）について

（会員事業所事業承継アンケート調査報告 含む）

（資料1-3-2）

○令和5年度の実績報告（4月～3月現在まで12カ月間）

- ・実施報告書（定性、定量報告、今後令和6年度について）（資料1-4）定性・定量

・大沢商工会長報告（総括報告）

事務局資料にあります様に、今年度は市と共同申請し、経済産業大臣の認定を受けた、第3期発達支援計画最初の年の検証会です。

第1期、第2期を経てPDCAサイクルに基づき、また第3期を策定する際に中小企業庁より示された新ガイドラインを踏まえて実施しております。

定性報告、定量報告に加え、今回も事例紹介を入れて具体的な個社支援の成果を紹介させて頂きました。事務局の説明の通りです。

本会でも、物価高騰やインボイス制度導入等をはじめとする様々な環境変化に対応すべく、市や各種支援機関等と連携した中で、専門家による月毎の個別経営相談会などによる経営基盤の強化支援、伊豆の国市プレミアム商品券事業、住宅・店舗リフォーム助成事業、伊豆の国ブランド振興会などの販路開拓支援など、個社支援と地域経済の活性化・地域の課題解決など面的な支援を行っています。

併せて、従来の創業支援、経営革新などの新事業展開支援、事業承継支援の3つの支援を最重要課題として、市と連携して取り組んでいます。

また最近では会員非会員問わず、補助金申請と併せ、事業計画策定支援の要望も多く寄せられ、経営指導員に留まらず、経営支援員も事業計画策定支援を実施するなど全職員で経営改善普及事業に対応しております。

商工会では、国・県・市の様々な施策等を通して小規模事業者を支援しております。経営指導員等職員の巡回を中心に、より多くの小規模事業者に対して、対話と傾聴を重視した本質的な課題の掘り下げ、内発的動機付けで、経営者の自走化を目指す「経営力再構築伴走支援」を心掛け取り組んでいます。

○評価と検証と今後

・中小企業診断士 北川裕章 様

事務局西家が代読。

第3期の経営発達支援計画1年目であり、第2期に引き続いて積極的な取り組みが実施された。特段の事情があった場合を除いてほぼ目標を達成しており、本計画が着実に実施されていると評価できる。以下特記内容を項目別に記載する。

1. 地域の経済動向調査に関する事は、全て計画通り実施されている。ただ③地域の経済動向については、RESAS等を活用した当地域独自の分析が加われば会員企業にとってさらに有益な情報提供になると思われる。事業承継については、独自に継続実施されていることから推移や傾向が把握されており、今後の取組への活用が期待される。
2. 需要動向調査に関する事は、当初目標の商工フェアが中止になったが静岡伊勢丹内アンテナショップでの調査提案や専門家による個別巡回指導などのフォローが実施されている。特に、2日間アンテナショップで「伊豆の国フェア」を開催し、7社が出品して経営者自らがお客様との対面調査を行う機会を提供できた点は評価できる。
3. 経営状況の分析に関する事及び4. 事業計画策定支援に関する事では、伴走型補助金を積極的に活用している。セミナーから個別相談会への参加をパターン化することで参加者増につながっている点は高く評価できる。
5. 策定後支援に関する事では、フォローアップ対象事業者数や頻度の達成率は目標に対して95%

だったが、売上や粗利益率では目標を大きく上回ることができた。また、本会の事業継続力強化支援計画に基づき、事業継続力強化セミナーを開催して7事業所の参加があった。その内4件が国の認定を受けたことは今後のBCP普及が大いに期待できる。

・静岡県商工会連合会 伊藤 彰 主幹 様

ほぼ全ての項目に於いて達成率100%を超えており、中止になった商工フェアについても代替え事業を実施し、伴走型補助金の申請額も県下上位であり執行率もほぼ100%で有効的に活用されている事进行评估する。

事業計画策定支援についても昨年の実績を超えその後の支援に於いて売上等の向上に繋がっている事进行评估する。

・伊豆の国市産業部 天野正人 部長 様

各事業の目標達成率が計画通り・それ以上の成果を残せた事进行评估する。

ブランド振興事業について次年度更なる飛躍を期待している。

令和6年度のプレミアム商品券事業は令和5年度の結果を踏まえ丁寧な事業進行を望む。

事業承継事業は重要な取組みと認識している。次年度以降もこれまでの取組みを踏まえ市と連携した上で効果的な取組みを望む。

③その他 ・今後の予定

事務局西家が令和6年度も伴走型補助金申請を検討している。また事業継続力強化支援計画は市と連携し推進していきたい旨述べた。

その後事務局西家が検証会について質疑を求めたところ特になく検証会を終了した。

令和6年度 新発達計画の推進と伴走型補助金の申請

市と連携して事業継続力強化支援計画の推進